

かけがえのないあなただから

若手だけでなく、ベテランの先生も要チェック事案

「体罰」はNGです。



ついカッとなる瞬間は誰にでもありますよね。いくら目の前で起こったことが許せなかったり、たとえ子供のしつけのためだと思ったりしても、不適切な対応をとれば、逆にあなたが責められることになる可能性があります。子供たちにとって私たちが信頼される「大人」になるために、自分の心構えとスキルをアップデートしていきましょう。

<体罰の定義>

「体罰」は、教員が児童生徒に対し、「**身体に対する侵害を内容とするもの（殴る、蹴る等）**」、「**児童生徒に肉体的苦痛を与えるようなもの（正座・直立等特定の姿勢を長時間にわたって保持させる等）**」に当たると判断される行為で、法律でも禁止されています。

◆身体に対する侵害を内容とするもの

- ▲ 殴る、蹴る、突き飛ばして転倒させる。
- ▲ 平手打ち、頭を平手で叩く。
- ▲ 物を投げつけ、生徒に当てる。
- ▲ 頬をつねる、頬を殴打する。 等

◆肉体的苦痛を与えるもの

- ▲ 居残りや別室指導で、生徒を長く留め置き、トイレや給食の許可を与えない。
- ▲ 必要以上に長時間の正座をさせること。 等

<体罰の判断>

当該児童生徒の「**年齢、健康、心身の発達状況、行為が行われた場所や時間等の環境、懲戒の態様等の諸条件**」を総合的に考え、一つ一つの事案ごとに「客観的に」考慮して判断する必要があります。

山形県教育委員会

「体罰等の根絶と児童生徒理解に基づく指導のガイドライン」（H25）より

研修用事例① 教室で

日頃から授業中、勝手に立ち歩いたり、奇声を発したりして授業を邪魔する子供がいた。それまで、何度も口頭での注意を繰り返していた。しかし、その日は指導を素直に聞き入れず反抗し無視したため、カッとなり、持っていた教科書で頭をたたき、胸ぐらをつかんで引っ張り、着席させた。そしてその子を目の前で大声で叱りつけた。周りの子供たちはその様子を見ておびえていた。

研修用事例② 部活動で

大会直前の練習のこと、その日遅刻してきた生徒が反省する様子もなくへらへらした態度をとっていた。しかも練習中、自分がプレーでミスをして仲間へのせいにして自分で遠くへ放ったボールを拾いに行こうとしなかった。その態度に頭にきて、その生徒の方にボールを投げつけた後に「お前みたいなやる気のないやつはやめてしまえ！帰れ！」と怒鳴りつけた。その後、大会前であるのにチーム全体の雰囲気が悪いという理由で、炎天下、部員全員水を飲ませずにグラウンドを1時間走らせた。

👉それぞれの事例について考えてみましょう。

- (1) 先生のどんな行為が不適切と考えられるでしょうか？
- (2) なぜ不適切な指導が行われてしまったと考えられるでしょうか？（原因や背景）
- (3) この事例の不適切な指導を防ぐにはどんなことが必要だと考えられるでしょうか？（防止策・適切な指導法）

